

今後の望ましいトイレ対策について

1. 携帯トイレブース設置試験の実施結果について

①実施内容

- 携帯トイレブースを四の沼手前に、回収ボックスを歩道入口付近に設置した。
- 7月13日から8月30日までの期間で設置を行った。
- 週に1回程度の見回り、清掃及び回収ボックスの使用済みトイレの回収を実施した。
- ガイド事業者へのヒアリング調査を実施し、携帯トイレブースの使用実績を把握するとともに、次年度以降に向けた意見聴取を行った。また、あわせてガイドツアー参加者の意見についても聞き取りを行った。

②結果

- 設置期間中の携帯トイレブースの利用者は8名であった。
- 携帯トイレを使用せずに直接排泄する等の不適切な利用は特に見られなかった。回収ボックスについては、ゴミの残置を1例のみ確認した。また、海外からの利用者がフードコンテナと勘違いして数日間コンテナ代わりに使用していた様子。
- 設置場所は林内であるため風の影響を受けにくく、携帯トイレブースの破損などは見られなかった。
- ガイド事業者へのヒアリングの結果、ガイドツアー内の携帯トイレブース利用者は2名であった。全ての事業者が携帯トイレブースはあったほうが良いと回答し、シーズンを通して設置して欲しいという意見が多かった。また、設置場所は現在の位置で良いとの回答が多かった。ガイドツアー参加者についても、事業者とほぼ同様の回答が得られた。

2. 今後の方向性について

- 今年度の実施結果から、携帯トイレブースであれば、設置・維持管理にはほとんどコストがかからないと思われた。携帯トイレブースの清掃はほぼ不要と考えられ、想定される維持管理作業は回収ボックスからの使用済みトイレの回収のみである。
- 携帯トイレブースを使用した者は比較的少数であったが、基本的には事前に済ませていただくことを前提とし、ガイド事業者等が緊急的に使用することを想定している。また、携帯トイレブースを設置することにより、精神的な安心感が得られるとともに、携帯トイレを使用せずに排泄する者が減少していると思われる。
- 今後、当面の間は通年で今回と同様の携帯ブース及び回収ボックスを設置することとし、普及啓発を図りたい。なお、ブースの設置箇所は今年度と同様の位置を想定。維持管理については、可能な範囲で知床ガイド協議会のご協力をいただきたい。
- 将来的には、利用者の動向を考慮しつつ、設置者・維持管理体制について検討を行い、必要に応じて望ましいトイレ対策について再検討する。



写真1：ブース設置状況



写真2：ブース内部の様子



写真3：回収ボックス設置状況

(別表)

対策案	メリット	デメリット
携帯トイレブース設置 (回収ボックス併設)	<ul style="list-style-type: none">・トイレ設置により利便性が向上・設置費が比較的安価・知床世界遺産全体での携帯トイレ推進に寄与・ガイド利用が多いため、事前準備が可能	<ul style="list-style-type: none">・日常的な美化清掃が必要・使用済みトイレの回収などが必要・普及啓発や販売の強化が必要・施設設置による景観、植生への影響
バイオトイレ設置	<ul style="list-style-type: none">・トイレ設置により利便性が向上	<ul style="list-style-type: none">・設置費が比較的高価・日常的な美化清掃が必要・汲み取りや機器点検などの維持管理が必要・利用の傾向がマストゥーリズムへつながる可能性がある・施設設置による景観、植生への影響
現状のまま	<ul style="list-style-type: none">・設置、維持管理の費用が不要・景観や植生等への影響がない	<ul style="list-style-type: none">・利用者のレベルが限定される

※携帯トイレブースもしくはバイオトイレを設置する場合、維持管理体制について十分に検討する必要がある。